

差別の構造と国民国家

— 宗教と公共性 — シリーズ宗教と差別1

監修 磯前順一、吉村智博、浅居明彦

編集 上村 静、菟田真司、川村寛文、関口 寛、寺戸淳子、山本昭宏

▼ A5判並製カバー・324頁・定価 三、〇八〇円



なぜ、私たちは差別するのか。宗教学、社会学、政治学、人類学、民俗学、歴史学など多角的立場から、固定化された差別観を覆し、宗教に内在する、秩序と差別の構造に迫る画期的シリーズ、待望の第1巻。

2021年11月刊行

【目次】

【巻頭言】磯前順一・吉村智博・浅居明彦
【序章】「聖なるもの」と「統治」の系譜(大村一真・川村寛文)

第1部 差別と国民国家—理論的考察

第一章 近代主権国家における排除と差別の論理
—「公共圏」「統治」「聖なるもの」(大村一真・菟田真司)
第二章 神・天皇・非人
—日本列島における差別の発生と深化の構造(佐藤弘夫)

第三章 情動的存在と「モノ」の政治

—デジタルメディア社会における差別とネット右翼
(川村寛文)

第2部 差別と共生—世界の事例から

第四章 被差別/非差別の主張とカースト制度
—「不可触民」であること、インド人であること(舟橋健太)

第五章 デイアスポラと国民国家

—「ユダヤ人」であること(上村 静)

第六章 フランスの世俗主義と「イスラムのヴェール問題」

(タラル・アサド/菟田真司訳)

第七章 〈ラルシユ〉共同体運動の「リアライゼーション」

—「健常者」を欲望しないこと(寺戸淳子)

第3部 差別の構造—近代日本の事例から

第八章 近代日本における生 権力と包摂/排除のポリティクス—感化救済事業と部落改善事業の分析から
(関口 寛)

第九章 主権と「天皇の赤子」
—アイヌの「救済」というセトラコロリアル・レイシズムの論理
(平野克弥)

第一〇章 「狐持ち」と結婚忌避(鈴木岩弓)

第十一章 低線量被ばく問題と現代日本社会
—「3.11」以後の避難者差別に関する一考察(山本昭宏)

【終章】差別を超えて(菟田真司)

【シリーズ全巻構成】

第1巻:差別の構造と国民国家—宗教と公共性

第2巻:差別と宗教の日本史

第3巻:差別の地域史—渡辺村からみた日本社会

零 巻:きよみず物語 被差別信仰論

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法藏館	定価 三、〇八〇円
監修 磯前順一、吉村智博、浅居明彦	
差別の構造と国民国家	
—宗教と公共性— [シリーズ宗教と差別1]	
ISBN:978-4-8318-5721-7 C1336	
住所	お名前
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

社会科学